

平成 24 年度
生活習慣病対策健診・保健指導に関する企画・運営・技術研修(研修計画編)
グループワーク手順

平成 24 年 6 月 5 日

現時点における課題の整理、解決策の検討、研修計画への反映

目的: 特定健診・保健指導の計画立案、実施、評価に関する現時点における課題を整理し、解決策を考え、研修計画に反映させる。

1. (9:20 交流対応大会議室に集合) 担当ファシリテーターの紹介後、A～N の 14 グループに分かれる(別紙)。
2. (9:30-10:10, 40分) 事前課題の 23 年度研修全体に関する実施報告書(様式 1)をもとに情報交換。今一番困っていること、関心があることについて一人 3 分以内で紹介する。
3. (10:10-10:30, 20分) 【個人作業】特定健診・保健指導の計画立案、実施、評価に関して、現時点での問題点(うまくいっていない点)や成功点(うまくいっている点)を思いつく限り、できるだけたくさんポストイットにマジックペンで記入する。問題点は、研修に限らなくてもよい。
4. (10:30-11:30, 1 時間)【グループ作業】グループ内で話し合いながら、各自が書いたポストイットを模造紙の 2×2 フォーマット(下記)で適切と思われる場所に貼る。同じ内容は重ねて貼る。

	コントロールできる	コントロールできない
うまくいっている		
うまくいっていない		

左記フォーマットにおいて、「コントロールできる」とは自分がその現状に対して何らかの影響を及ぼすことができることをいう。一方、「コントロールできない」とは自分がその現状に全く影響力を持たない状態を指す。

4. (11:30-12:00, 30分)【グループ作業】各グループのフォーマットの中で「うまくいっていない」が「コントロールできる」項目について、似たものをまとめてグルーピングし、名前を付ける。
5. (12:00-12:30, 30分)【グループ作業】上記のグループ化された各問題点の解決方法(解決のためにできること)を考えて、問題点とともにA4 版白紙(配布)に簡単にまとめる(様式自由)。問題点がたくさんある場合は、「研修」に関する問題点から取り組むこと。

6. (13:30-14:00, 30分)【発表会】2~3グループが集まり、ファシリテーターの司会でお互いの検討結果を発表(1グループ5分以内)。発表会后、A4のまとめはファシリテーターに提出する。

(後日、保健医療科学院のHP上でPDF形式にてご覧になれます)

7. (14:00-15:30)【都道府県、団体別】これまでのグループワークで得られた検討結果や同じグループの研修計画で参考になる点をそれぞれの研修計画に反映させる。加筆修正箇所は、アンダーラインで示すこと。加筆修正した研修計画は、15:30までに各教室の教卓上パソコンのデスクトップ上のフォルダーに提出する。

※1 都道府県グループについては、事前に準備した「平成24年度研修全体に関する計画書(シート)」ファイルをもとに、メンバーで話し合っ、都道府県全体の研修計画がよくわかるように1つのエクセルファイルにまとめる。市の計画等も1つの都道府県ファイルに入れること。

※2 医療保険者(国レベル)・関係団体グループについては、団体間で情報交換をしながら、団体ごとに研修計画を修正すること。現在、研修を予定していない団体は、他の団体を参考にしながら、実施すると仮定して作業を進めること。

※3 15:30までに、各教室前方のノートパソコンのデスクトップ上のフォルダーに成果物エクセルファイル(1ファイルにまとめたもの、23年度実績報告を含む)を提出すること。ファイル名は、必ず都道府県名(または団体名)にすること。

(15:30-15:45)交流対応大会議室へ移動

8. (15:45-16:05)【全体】全体の総括:各ファシリテーターから担当グループの検討結果について、コメントとともに報告。

【付録】

カードづくりの5つのルール

- ・1枚の紙にはひとつの意見を書く
- ・主語をはっきり書く(例えば「上司が」ではなく、「●●課の課長が」)
- ・具体的に書く(例えば「理解がない」ではなく、「~という理由で反対された」)
- ・「書いたら恥ずかしいこと、いけないこと」は何もない
- ・大きな字で、わかりやすく書く

貼るとき、話し合うときの5つのルール

- ・メンバーの合意で貼る
- ・人の意見を否定しない(批評家にならない)
- ・ノートをとらない(傍観者にならない)
- ・少数意見もどこかに残す(怪しげな意見も認める)
- ・沈黙は罪